

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2003年 6月23日
Date of Application:

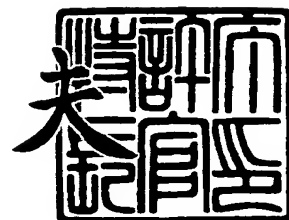
出願番号 特願2003-177885
Application Number:
[ST. 10/C]: [JP2003-177885]

出願人 株式会社イー・アンスリー・システムズ
Applicant(s):

2003年 9月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康夫



出証番号 出証特2003-3077677

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000011139

【提出日】 平成15年 6月23日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 A44C 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 大阪市中央区久太郎町一丁目 2 番 7 号 株式会社イー・アンスリー・システムズ内

【氏名】 円口 泰司

【特許出願人】

【識別番号】 500436972

【氏名又は名称】 株式会社イー・アンスリー・システムズ

【代理人】

【識別番号】 100084135

【弁理士】

【氏名又は名称】 本庄 武男

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2002-334956

【出願日】 平成14年11月19日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001993

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0216950

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書**【発明の名称】 芳香性身装品****【特許請求の範囲】**

【請求項 1】 身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品。

【請求項 2】 上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものである請求項 1 に記載の芳香性身装品。

【請求項 3】 上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或はほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものである請求項 1 に記載の芳香性身装品。

【請求項 4】 上記身装品の一部が、装飾体そのものである請求項 1～3 のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項 5】 上記身装品の一部が、装飾体を繋ぎ合わせる芯材である請求項 1～3 のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項 6】 上記身装品の一部が、装飾体に取り付けられた条体である請求項 5 に記載の芳香性身装品。

【請求項 7】 上記身装品が、ストラップ、ブレスレット、ネックレス、キーホルダ、イヤリング、下着、シャツ、上着、アンクレット、眼鏡ストラップ、ヘアバンド、社員証ホルダ或いはそのストラップ、ベルト、ベルトバックル、ネクタイ、ネクタイピン、ネクタイピンの鎖、ブラジャー、ブラジャーの紐、ガータ、ガータベルト、履物、履物のストラップ、履物の滑り止めのいずれか 1 または複数を含んでなる請求項 1～6 のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項 8】 上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を注入する注入孔と、空気を排出する排気孔とが形成されてなる請求項 1～7 のい

ずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項 9】 上記注入孔及び／若しくは上記排気孔が、常時は閉じているか或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり、芳香剤の注入時に変形して芳香剤の注入具あるいは空気の通過を可能とするものである請求項 8 に記載の芳香性身装品。

【請求項 10】 上記芳香剤の注入具が注射器或は注射針である請求項 9 に記載の芳香性身装品。

【請求項 11】 芳香剤収容器の一端がチューブ状であり、この芳香剤収容器の一端に差し込まれる中空状の注入器と、この注入器の一端に上記チューブ状の芳香剤収容器の一端を差し込んだ状態で芳香剤収容器の上記一端を上記注入器に固定する固定部材と、上記注入器の他端の開口を封止するキャップ部材とを備えてなる請求項 1～10 のいずれかに記載の芳香性身装品。

【請求項 12】 上記キャップ部材が他部品との連結部を兼ねている請求項 11 に記載の芳香性身装品。

【請求項 13】 上記注入器が互いに連結可能の連結機構を備えてなる請求項 11 に記載の芳香性身装品。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、芳香剤を内部に収容し得る芳香剤収容器を備えた芳香性身装品に係り、特に、芳香の必要な時に引っ張ったり、押しつぶしたり、揉んだりすることで、その時だけ芳香性を発揮しうるようにした芳香性身装品に関するものである。

【0002】

【従来の技術及びその問題点】

従来、上記のような芳香剤を内部に収容し得る芳香剤収容器を備えた芳香性身装品としては、スポンジ等の多孔性容器からなる芳香剤収容器に芳香剤を収容し、芳香剤が沁み出すことで芳香作用を発揮させるようにした身装品が知られている。

しかしながらこのような芳香性身装品では、常時芳香剤が沁み出るので、必要でないときにまで周囲の人に芳香を感じさせる問題があり、また、常時芳香を放つために芳香剤の消費が多く、不経済という点でも問題があった。

従って、本発明が目的とするところは、必要な時に身装品を使っている人等が、その身装品を引っ張ったり、揉んだり、押しつぶしたりといった変形を加えたときだけ、芳香を発揮することのできる芳香性身装品を提供することである。

【0003】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記した目的を達成するためになされたものであり、その要旨とするところは、

身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品である。

上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものであることが望ましい。

上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或はほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものであってもよい。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体そのもの或は装飾体を繋ぎ合わせる芯材であってもよい。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体に取り付けられた条体であってもよい。

上記身装品としては、ストラップ、ブレスレット、ネックレス、キーホルダ、イヤリング、下着、シャツ、上着、アンクレット、眼鏡ストラップ、ヘアバンド、社員証ホルダ或いはそのストラップ、ベルト、ベルトバックル、ネクタイ、ネクタイピン、ネクタイピンの鎖、ブラジャー、ブラジャーの紐、ガータ、ガータ

ベルト、履物、履物のストラップ、履物の滑り止め等が考えられる。

また、上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を注入する注入孔と、空気を排出する排気孔とが形成されていることが望ましい。

上記注入孔及び／若しくは上記排気孔として、常時は閉じているか或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり、芳香剤の注入時に変形して芳香剤の注入具あるいは空気の通過を可能とするものが考えられる。

上記芳香剤の注入具の典型例として注射器或は注射針が考えられる。

芳香剤収容器の一端がチューブ状であり、この芳香剤収容器の一端に差し込まれる中空状の注入器と、この注入器の一端に上記チューブ状の芳香剤収容器の一端を差し込んだ状態で芳香剤収容器の上記一端を上記注入器に固定する固定部材と、上記注入器の他端の開口を封止するキャップ部材とを備えてなるように構成された芳香性身装品であれば、芳香剤収容器とそれを封止する部材とのつなぎ目からの芳香剤の漏れなくなり、経済的であると共に、不要なときにまで芳香剤が漏れ出るトラブルを解消することが出来る。

この場合、上記キャップ部材を他部品との連結部と兼ねさせることで、例えばアクセサリなどを芳香剤収容器と連結することが出来、身装品としての価値が増大する。

上記注入器自身が連結機能を備えたものであれば、環状の身装品に適用して好適である。

【0004】

【発明の実施の形態】

続いて添付図面を参照して本発明を具体化した実施形態について説明し、本発明の理解に供する。

ここに図1は、本発明の一実施形態に係る身装品の一例としてのストラップを示す断面図、図2は図1に示したストラップの要部拡大断面図、図3は、本発明の種々の適用例を示す図、図4は、芳香剤収容器の漏れ止め金具の一例を示す分解図、図5はその組立図である。

続いて、上記図面を参照しつつ、好ましい実施形態に付いて説明し本発明の理解に供する。

この実施形態にかかるストラップは、例えば携帯電話、PDAなどの携帯通信端末などに取り付けられるストラップであるが、その用途は、上記に限定されない。

【0005】

このストラップSは、図1に示すように携帯電話などに取り付けられる紐1と、該紐1に金具3を介して接続される釣り金具2と、上記釣り金具2に連結されるチューブ状の芳香剤収容器4と、該芳香剤収容器4に取り付けられる装飾体5とを主な要素として備えている。ここに6a、6bは、装飾体5が芳香剤収容器4から脱落するのを防止するための止め金具である。この例は、チューブ状の芳香剤収容器4が、その形態から条体であり、且つ装飾体5を繋ぎ合わせる芯材を兼ねる例である。

上記芳香剤収容器4の詳細について図2を参照して説明する。芳香剤収容器4は、それ自身弾性のあるプラスチック製で、その端部にチューブの端部開口を封止する栓部材7aと7bが装着されている。一方の栓部材7aには、香水などの芳香剤をチューブ内に注入するための注射器或は注射針を挿入するための注入孔8aが、他方の栓部材7bには、上記注射器などにより芳香剤が芳香剤収容器4に注入されたときに、チューブ内の空気を逃がす排気孔8bがそれぞれ形成されている。ここに栓部材7a或は7bは、それ自身弾力性のあるプラスチックで構成することで、芳香剤の注入を行なわない常時には、上記注入孔8及び排気孔8bが完全に閉じているか、あるいは内部の芳香剤が出てこない程度に閉じている、即ち、内部の芳香剤が出てこない程度の有効径の注入孔8a或は排気孔8bが形成されていることが望ましい。

尚、上記注入孔8a或は排気孔8bは、芳香剤収容器4自体に形成されたものでも良い。

また、上記芳香剤収容器4自身には、図2(b)に示すように複数の芳香剤流出孔9が形成されている。この芳香剤流出孔9の有効内径は多様でよいが、大きくとも、内部の芳香剤が常時はまったく流出しないか、或はほとんど流出しないように、芳香剤の有効径と同等或はそれより小さく設定されている。ただし、このような芳香剤流出孔9は、上記芳香剤収容器4を手で引っ張ると、図2の(b)

）破線（9 a）で示すように広がって、その時だけ芳香剤が流出できるように構成されている。上記のような芳香剤流出孔 9 は、芳香剤収容器 4 を弾性のある多孔性材料で構成し、材料の開口率を不純物の包含率等を調整することで容易に形成される。もちろん、芳香剤の通らない材料に針で突いて適当な径の芳香剤流出孔 9 を形成するようにしても良い。

【0006】

このようなストラップ S の場合、常時は上記芳香剤流出孔 9 が、小さいので、内部の芳香剤はまったく或はほとんど流出しないが、必要に応じてストラップ S を引っ張ったり揉んだりすると、芳香剤収容器 4 が変形して芳香剤流出孔 9 が拡大し、その時だけ内部の芳香剤が流出するので、極めて経済的であり、且つ芳香を嫌う雰囲気では芳香を発しないので、迷惑とならない優れた効果を発揮する。

本発明は上記ストラップのみでなく、広く身装品に適用できる。例えば図 3 に示すような、ブレスレット B、ネックレス N、イヤリング Y、キーホルダ K である。また、ブラジャー等の下着にも適用できる。ブラジャーの紐に本発明を適用して、紐を引くと芳香が漂う様にする事が望ましい実施形態である。また別の適用例としてシャツや上着に適用することももちろん可能である。シャツ、上着等の一部に忍ばせて、時折引っ張って芳香を楽しむこともできよう。更に、足輪の一種であるアンクレット、ヘアバンド、眼鏡のストラップ、社員証を首からつるすストラップや紐、或いは社員証ホルダ、ガーターベルトを含むベルト、ネクタイピン、或いはその鎖やストラップ、ブラジャー自身やブラジャーの紐、その他履物自身或いはそのストラップや滑り止めについても適用可能であることは言うまでもない。

また、芳香剤収容器は上記のような芯材となる条体でなくとも、装飾物自身であっても良い。例えば、図 1 に示した装飾品 5 自身の内部に芳香剤を収容する部屋を作っても良い。そのような構成であれば、上記のようなブレスレット B、ネックレス N、イヤリング Y、キーホルダ K の装飾物自身に芳香剤を蓄える部屋を備えてもよく、このような場合、ブローチ、指輪、ペンダント、ベルト自身、ベルトバックル、財布、名刺入れ、定期入れ、その他、それ自身香りを愉しむ香り袋のようなものも本発明の範囲である。このような実施形態の場合、ペンダント

などを揉むだけで芳香を発することになろう。

尚、本発明の効果は、ストラップなどからの芳香剤の放出がある程度せき止められれば達成されるのであるから、芳香剤流出孔は、芳香剤を完全にせき止める場合はもちろん、ある程度せき止めることが出来る程度の有効径であれば事足りる。

【0007】

【実施例】

図2の例では、栓部材7a、7bに排気口8a、8bを設けてここから芳香剤を芳香剤収容器4に注入するようにした。これを改良したものが図4（分解図）、図5（組立図）に示されている。この例では、芳香剤収容器4の一端4aを中心に連通する中空部10a、10bが形成された中空状の注入器10の一端部10cに差し込む。

また上記芳香剤収容器4の一端4aを固定部材11の中空部11aに差し込んでおき、注入器10の雄ネジ部10dに、固定部材11の雌ネジ部11bを螺合させることで、注入器10に固定部材11を締め付け、芳香剤収容器4の一端4aが注入器10から外れない様にする。即ち、注入器10の一端10cに上記チューブ状の芳香剤収容器4の一端4aを差し込んだ状態で芳香剤収容器4の上記一端4aを上記注入器10に固定部材11によって固定する。

また、上記注入器10の中空部10aに形成された雌ネジ10eに、キャップ部材12の雄ネジ部12aを螺合させて締め付けることで、注入器10の中空部10aから注入された芳香剤が、注入器10から漏れ出ることが出来なくなる。芳香剤が無くなれば、上記キャップ部材12を外して、新しい芳香剤を注射器などで注入器10から芳香剤収容器4に注入する。

上記構成であれば、芳香剤収容器4とそれを封止するキャップ部材とのつなぎ目からの芳香剤の漏れなくなり、経済的であると共に、不要な時にまで芳香剤が漏れ出るトラブルを解消することが出来る。

この場合、上記キャップ部材に係止孔12bを形成し、この係止孔12bにストラップ1などの装飾具を連結させれば、身装品としての価値がさらに増大する。

。

もちろん、キャップ部材 12 自身を雄側の注入器 10 として構成し、両注入器を連結しても良い。ブレースレットや首飾りなどの環状の身装品はこのような構成が望ましい。連結の構造としては上記のような雌雄のネジ構造が好ましい実施例として考えられる。もちろん止め輪のような簡単な構造でも良い。

【0008】

【発明の効果】

本発明は、以上述べたように、

身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品である。この芳香性身装品の場合、収容器を揉む、引っ張る等による変形を加えたときだけ芳香剤が外部に流出するので、芳香の不要な時には芳香を発しないので経済的である。また芳香が好ましくない時にも芳香を発するといった不都合が無くなる。

上記芳香剤収容器は、それに形成された上記芳香剤流出孔の有効内径が、常時は収容された芳香剤の有効径と同程度あるいはそれより小さく、収容器を変形させることによってその有効内径が大きくなるように弾性変形するものであることが望ましい。これによって実質的に収容器を変形させない限り、芳香を発しないことになる。

上記芳香剤収容器は、上記芳香剤流出孔が、常時は完全に或はほぼ閉じており、収容器を変形させることによって収容器の弾性変形によって芳香剤の有効径より大きい孔になるように弾性変形するものであってもよい。これによって実質的に収容器を変形させない限り、芳香を発しないことになる。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体そのもの或は装飾体を繋ぎ合わせる芯材であってもよい。芯材として構成する場合として、ストラップ、ブレースレット、ネックレス、イヤリング、キーホルダなどが、装飾体そのものとして構成すべき場合として、指輪、ブローチ、ペンダント、バックル、財布、臭い袋、下着、シャツ、上着などがある。また、アンクレット、眼鏡ストラップ、ヘアバンド、社員証ホルダ或いはそのストラップ、ベルト、ベルトバックル、ネクタ

イ、ネクタイピン、ネクタイピンの鎖、ブラジャー、ブラジャーの紐、ガータ、ガータベルト、履物、履物のストラップ、履物の滑り止め等にも本発明は適用可能である。

上記身装品の一部をなす芳香剤収容器は、装飾体に取り付けられた条体であってもよい。この場合、単に引っ張るだけで芳香を発するのに都合が良い。

また、上記芳香剤収容器或はこれに連結された部材の一部に芳香剤を注入する注入孔と、空気を排出する排気孔とが形成されていることが望ましい。芳香剤が無くなったとき、これを追加することができる。

上記注入孔及び／若しくは上記排気孔として、常時は閉じているか或は芳香剤が通過できない有効径の孔であり、芳香剤の注入時に変形して芳香剤の注入具あるいは空気の通過を可能とするものが考えられる。簡単な構成で、注入孔や排気孔と構成できる。

上記芳香剤の注入具の典型例として注射器或は注射針が考えられる。注入に都合の良い構成である。

芳香剤収容器の一端がチューブ状であり、この芳香剤収容器の一端に差し込まれる中空状の注入器と、この注入器の一端に上記チューブ状の芳香剤収容器の一端を差し込んだ状態で芳香剤収容器の上記一端を上記注入器に固定する固定部材と、上記注入器の他端の開口を封止するキャップ部材とを備えてなるように構成された芳香性身装品であれば、芳香剤収容器とそれを封止する部材とのつなぎ目からの芳香剤の漏れなくなり、経済的であると共に、不要なときにまで芳香剤が漏れ出るトラブルを解消することが出来る。

この場合、上記キャップ部材を他部品との連結部と兼ねさせることで、例えばアクセサリなどを芳香剤収容器と連結することが出来、身装品としての価値が増大する。

注入器を連結構造とすれば、ブレースレット等の環状のアクセサリー等に好適に適用できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施形態に係るストラップの断面図。

【図 2】 図 1 に示したストラップの要部断面図。

【図 3】 本発明を適用できる身装品の例を示す図。

【図 4】 本発明の他の実施形態にかかるストラップなどに使用可能の接続部の分解図。

【図 5】 図 4 に示した接続部の組立図。

【符号の説明】

S…ストラップ

1…紐

2…釣り金具

3…金具

4…芳香剤収容器

5…装身具

6…止め金具

7…栓

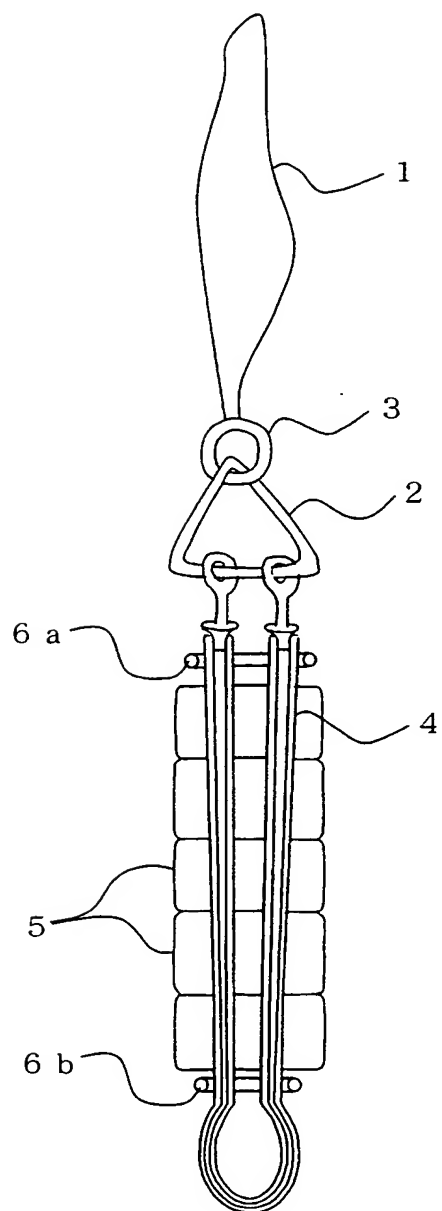
8 a…注入孔

8 b…排気孔

9…芳香剤流出孔

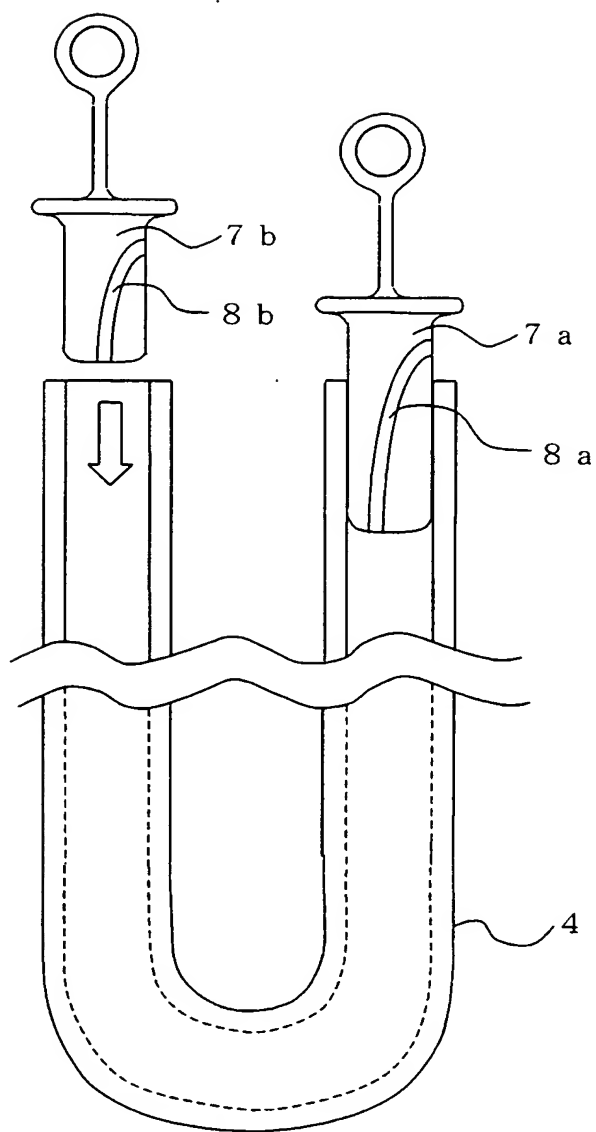
【書類名】 図面

【図 1】

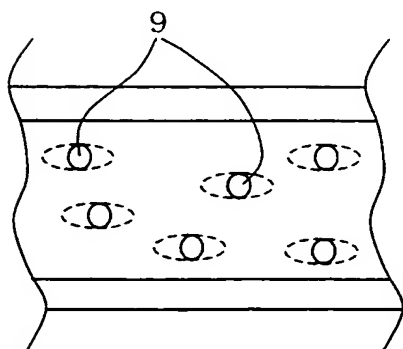


【図 2】

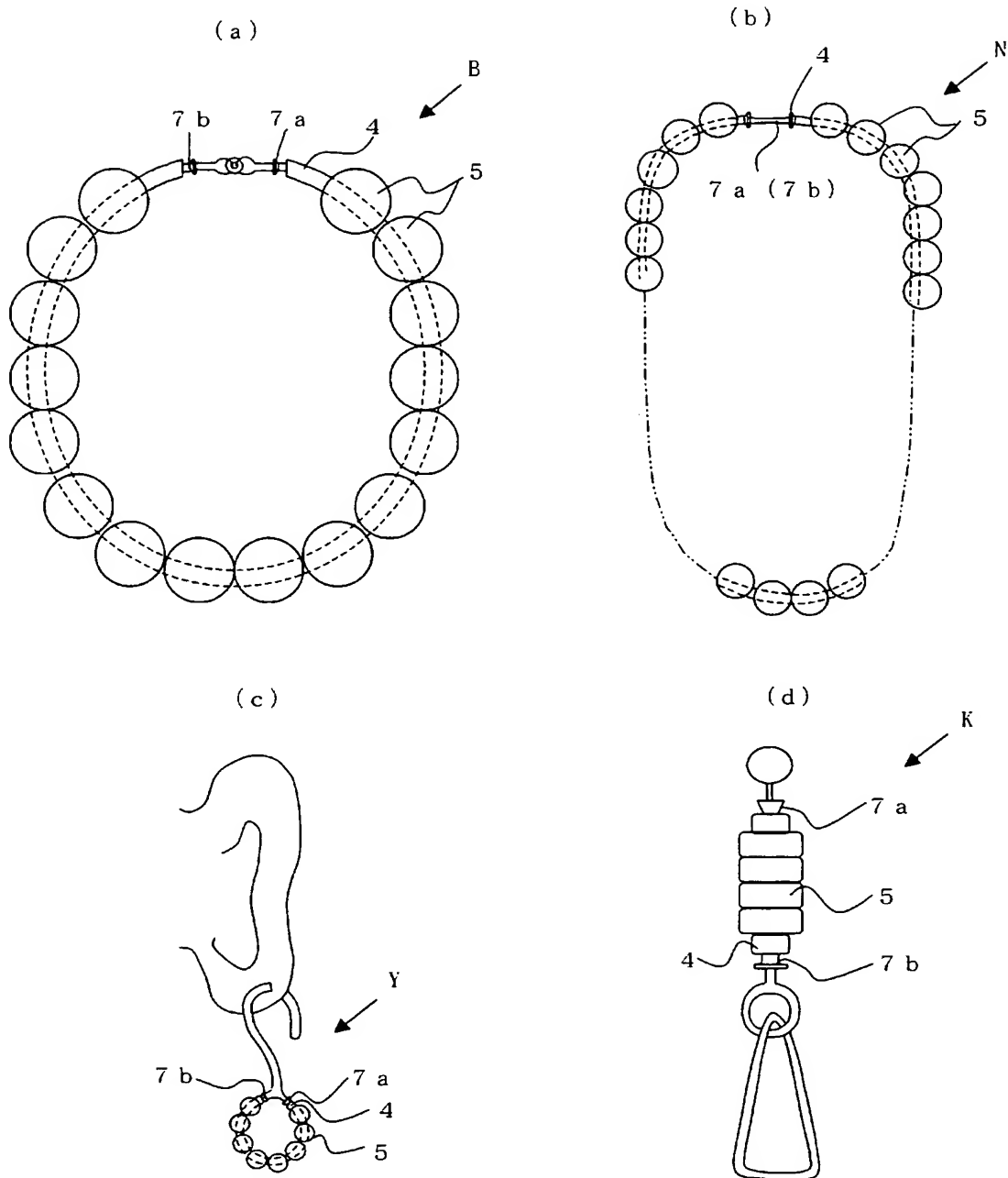
(a)



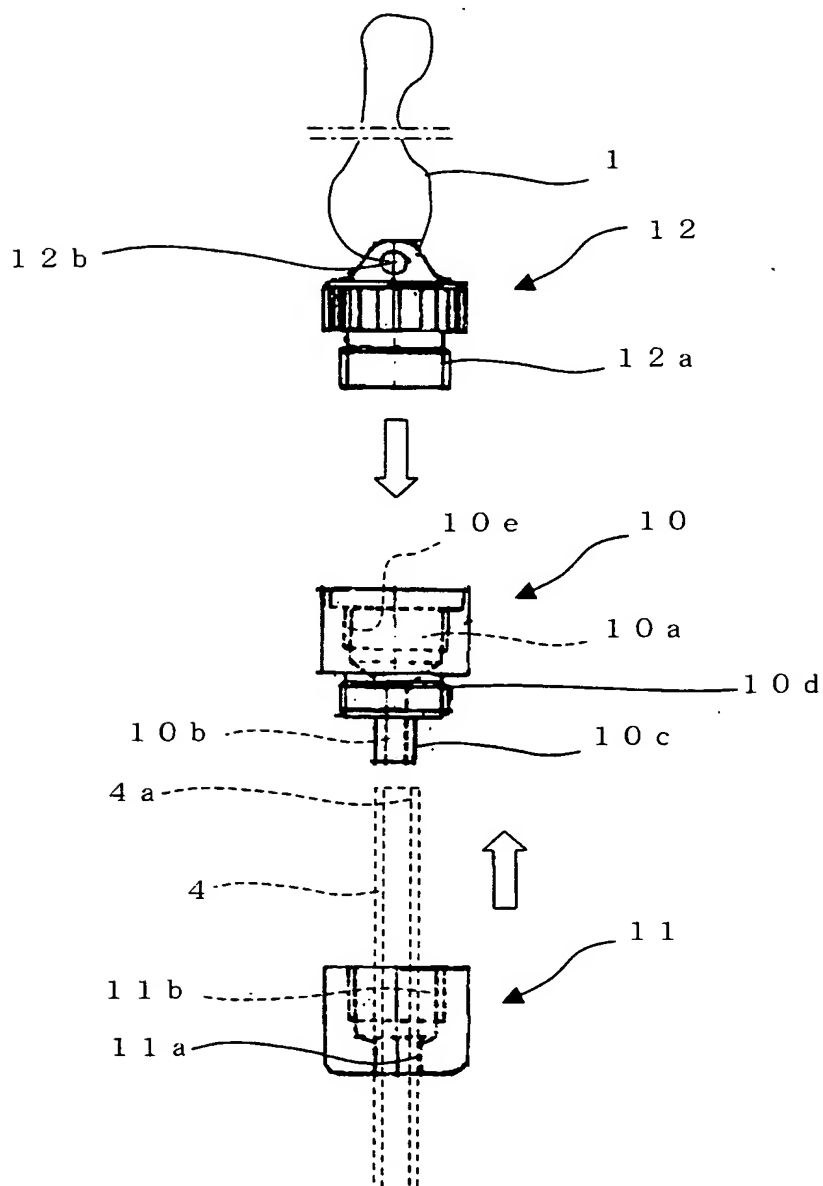
(b)



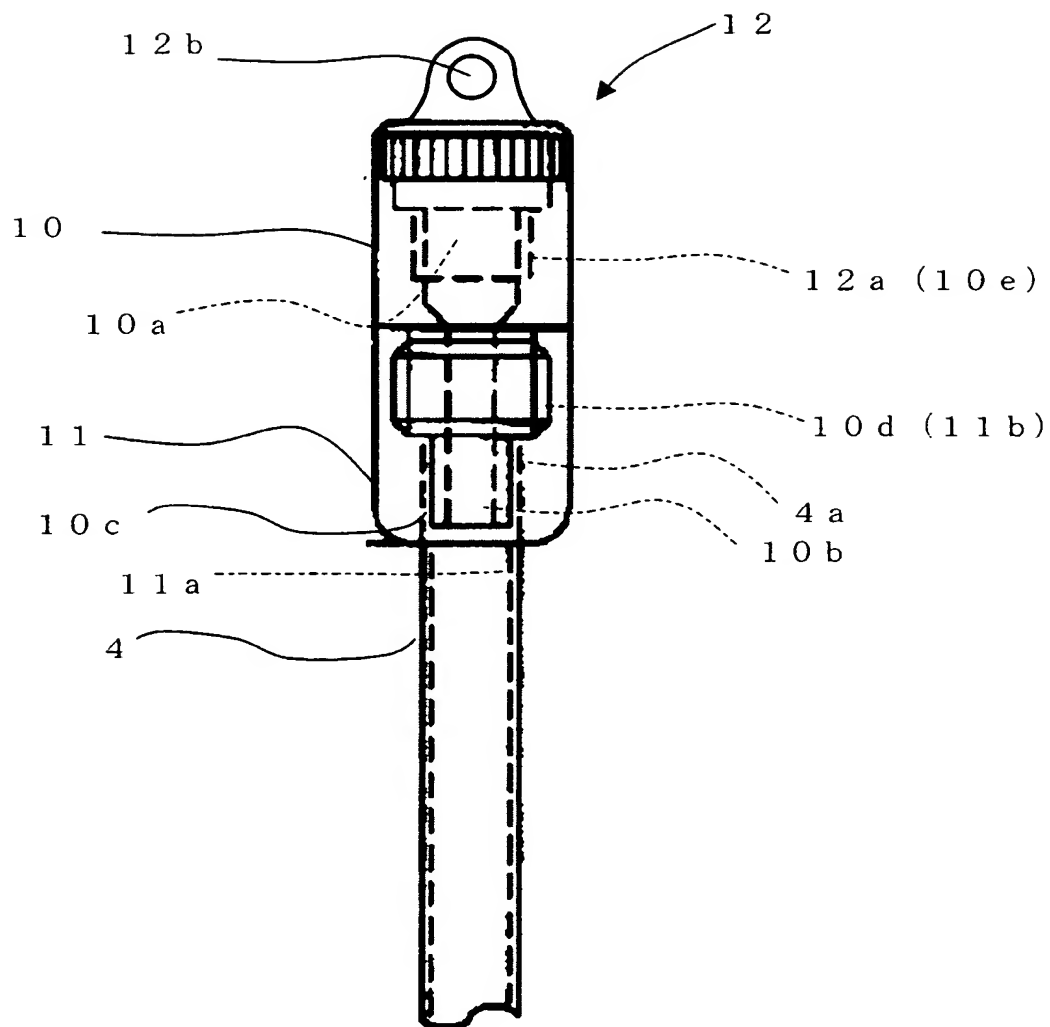
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書**【要約】**

【課題】 必要な時に身装品を使っている人等が、その身装品を引っ張ったり、揉んだり、押しつぶしたりといった変形を加えたときだけ、芳香を発揮することのできる芳香性身装品を提供すること。

【解決手段】 身装品の一部が芳香剤を内部に収容可能な弾性材よりなる芳香剤収容器を備え、この芳香剤収容器に、常時は内部の芳香剤の流出を完全に或はほぼせき止め、収容器を変形させた時に内部の芳香剤が出て来得る程度の芳香剤流出孔が形成されてなるものである芳香性身装品。

【選択図】 図 1

特願 2003-177885

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[500436972]

1. 変更年月日

2000年11月 8日

[変更理由]

住所変更

住 所

大阪府中央区谷町4-8-1 ストックエスエフビル6F

氏 名

株式会社イー・アンスリー・システムズ

2. 変更年月日

2002年12月 9日

[変更理由]

住所変更

住 所

大阪府大阪府中央区久太郎町一丁目2番7号

氏 名

株式会社イー・アンスリー・システムズ